



建築科生徒が大学講義を行いました！



【講義風景】

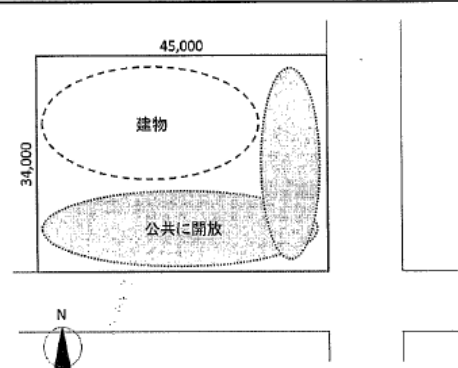
建築科建築コース、建築設備コースの生徒が、新潟工科大学の飯野教授から、専門分野の技術を活用して将来課題を解決するために必要な力を身につけるために、「省エネルギーを標榜した設備設計の基本的な考え方」と題し、講義をして頂きました。

本講義では、自社ビルを建設するプロジェクトの意匠設計と設備設計を生徒自身が担当するという内容で、実際に大学生に行っている講義内容に近いものでした。

生徒は、今まで学習した内容を駆使して設備環境の考察を行い、トイレやエレベータの台数の算出の仕方を学び、おのおのが考えているようでした。

課題解決という観点からも、これまでのSPHの講義と比べ考える時間も多くあり、新たな力を養うことができた時間となりました。

建築設備「省エネルギーを標榜した設備設計の基本的な考え方」



図のような敷地があり、敷地内の北西側に、従業員300人（男性120人、女性180人）の自社ビルを建設するプロジェクトがある。
あなたは、意匠設計と設備設計を担当することとなった。。。

【講義に用いられた資料】

【生徒の感想】

- ・ 建築法規で学習した床面積の計算が電気に関することでも使われていて驚いた。
- ・ これまでの授業で勉強したことを振り返りながら問題が解けたのでより理解が深まった。
- ・ ファサードデザインのあり方で反射を利用してオフィスを明るくするという方法が印象に残った。
- ・ 大学では今回の講義ももっと時間をかけて学べると知って、進学する意欲がより増した。
- ・ 建築における省エネを考える上で、建築設備の重要性をより感じる事ができた。

